

浜学園	4年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 No.11 数の性質 No.12 長さと重さ No.13 いろいろな速さ No.14 平面図形(1)		
家庭学習ポイント	No.11では倍数、公倍数、最小公倍数(LCM)について学びます。倍数=ある数を整数倍したもの、公倍数=いくつかの整数の共通の倍数、最小公倍数=公倍数の中で最も小さいもの、と、これだけのことではありますが、この単元で最も大切なことは作業を覚え実行できるようになることです。また、倍数の判別法についても学びます。3の倍数、4の倍数、8の倍数、9の倍数などは、曖昧なまま6年生になると大きなビハインドになりますので丁寧に学びましょう。No.12では長さや重さの単位を学びます。まずは身の回りで良く使うものから理解を深めましょう。単位は演習による常識化が肝です。めんどくさがらずに、できればむず問までは完璧にしておきましょう。No.13では速さの理解を深めます。単位時間あたりに進む道のり→速さと道のりと時間の関係を把握しましょう。また、単位時間あたり、という点から仕事の速さという概念も身につけておきましょう。チャレ問まで取り組めるとこの後の速さの問題がだいぶ楽になります。No.14では角と角度、垂直と並行、平行線と角について学びます。図形問題の基礎ですから丁寧に取り組みましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	最小公倍数や最大公約数、素数など言葉の定義を意識していますか？	チェック
	解決策	何となく知っているではなく、一つひとつどういう意味があるのか定義を確認しましょう	□
	チェック2	おもな倍数判定法を説明できますか？	チェック
	解決策	4年生できちんと身につけることは大きなアドバンテージです。是非身につけましょう	□
	チェック3	日常的に単位について意識していますか？	チェック
	解決策	普段から単位を意識して生活することが、体験学習として今後の難問攻略に生きてきます	□
	チェック4	速さの単位の意味を知っていますか？	チェック
	解決策	自動車の速度計なども使って、単位時間あたりに進む道のり、という概念を身につけておきましょう	□
	チェック5	同位角、対頂角、錯角の関係を正しく理解していますか？	チェック
	解決策	言葉の意味と、それぞれの関係性を把握しておきましょう。今後の平面図形で頻出です	□
浜学園	4年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 No.11 物語・小説・伝記(1) No.12 物語・小説・伝記(2) No.13 随筆(1) No.14 随筆(2)		
家庭学習ポイント	No.11からは7回、文学的な文章の読み取り方を学びます。まずあらすじの捉え方です。いつ、どこで、だれが、何を、どうしたというあらすじを読み取り、次に登場人物の会話や行動から心情を捉えてみましょう。No.12ではNo.11で学んだ内容を踏まえて、実際に答え方の練習を進めましょう。No.13では随筆について学びます。随筆とは、事実(筆者の経験など)とそれに対する筆者の感想、考えを自由に書いた文章です。随筆のポイントは、まず筆者が書こうとしたきっかけや動機を理解することです。事実や経験に対する筆者の感想や意見、考え方を読み取る訓練をしていきます。No.14ではNo.13で学んだことを踏まえて、実際に答え方の訓練を進めていきます。筆者が伝えなかった主題に注目して答える練習をしましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	文章中の会話に注目できていますか？	チェック
	解決策	せりふからはその人の心情が読み取れます。どんな心情か確認しましょう。	□
	チェック2	物語文で「場面の変化」によって登場人物の心情が表現されていることを意識していますか？	チェック
	解決策	空がどんよりと曇る=登場人物の気持ちが沈む、といった表現多用されます	□
	チェック3	物語文の読解で、場面を映像のように思い描いていますか？	チェック
	解決策	「映像化」と呼ばれる読解テクニックです。意識して使ってみましょう	□
	チェック4	作者の伝えなかったことが読み取れていますか？	チェック
	解決策	要するに〇〇、という観点で主題をまとめられるか考えてみましょう。	□
	チェック5	随筆の読解において、事実と筆者の意見を区別して読んでいますか？	チェック
	解決策	文章中に傍線やチェックなどして整理するのもよいでしょう	□

浜学園	4年		
	理科		
学習内容	5月の学習内容 No.11 節足動物の分類 No.12 せきつい動物の分類 No.13 魚のくらし No.14 鳥のくらし		
家庭学習ポイント	No.11では節足動物（こん虫の仲間、くもの仲間、ムカデの仲間、エビやカニの仲間）について学びます。それぞれの体のつくりと特徴によって分類されていることを学び、こん虫の仲間についてはさらに細かく分類します。これまでの体験の中で得た知識があれば、この機会に分類することでより理解を深めることができます。また、入試で問われることのある水質指標生物についても学びます。No.12ではせきつい動物について学びます。背骨のある動物について、生まれるときの姿（卵or子）、呼吸の方法（えらor肺）、体温（変温or恒温）について、住んでいる場所など、分類するための指標も学びますので、丁寧に整理し記憶しましょう。No.13では、魚についてより深く学びます。魚の住む場所が海なのか川なのか、呼吸の仕方や増え方の知識を得たのち、メダカの体のつくりや特徴も学びます。No.14では鳥について学びます。住む場所、体の特徴、エサの取り方、子育ての様子、鳴き声などの知識を学びますが、事前に色々な鳥のことを体験学習で知っているお子さんのほうが理解が早くなります。色々な体験をしておきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	さまざまな節足動物の名前を知っていますか？	チェック
	解決策	テキストだけから学べる情報は少ないので、できれば昆虫採集や博物館などの体験を	□
	チェック2	体のつくりの違いに気づけますか？	チェック
	解決策	足の数も一つの指標です。また頭部+胸部+腹部なのか、頭胸+部腹部なのか、作りの違いに注目	□
	チェック3	せきつい動物の種類を全部言えますか？	チェック
	解決策	今回の学習までに（または今回を機会に）様々な生物の分類に触れておきたいところです	□
	チェック4	メダカの体の各部分の名前を答えられますか？	チェック
	解決策	メダカのせびれとしりびれの形など、オスとメスの違いなども絵を描きながら覚えましょう	□
	チェック5	鳥の種類をたくさん知っていますか？	チェック
解決策	普段の生活の中で知ることができる鳥はたくさんあります。日常的に観察したいですね	□	
浜学園	4年		
	社会		
学習内容			
家庭学習ポイント			
課題の把握と解決策			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック